エッ! ホント!? 栽培漁業 Q&A

もっと知りたい、
ゆたかな海を守る
栽培漁業のあれこれ。

栽培漁業は どうしてはじまったの?

昭和30年ごろに瀬戸内海では漁獲量が減って困っていました。そこで、国が県や漁業者と相談して、昭和38年に瀬戸内海に国の栽培漁業センターをつくり、少なくなったサカナを増やして、将来的にもサカナが食べられるようにするために栽培漁業に取り組むことになりました。その後、クルマエビやマダイなどの種苗を放流することができるようになり、その他の都道府県でも国の補助を受けて栽培漁業の取り組みがスタートしました。

栽培漁業って サカナを増やすためだけに やってるの?

栽培漁業は海のサカナを増やすのはもちろん、その海の資源管理をとおして、放流以外のサカナ達をも守り育てることとなり海全体の環境改善に貢献します。
さらに養殖や希少種の種苗生産などの技術にも役立っています。
また、資源を大切にする気持ちも養われます。一般の人にもできることがあります。

- サカナの子供は獲らないようにしましょう。
- 放流するための取り組みに積極的に協力しましょう(協力金を募っている地域もあります)。
- ゴミを捨てないなど、海の環境をきれいに保つことにも協力しましょう。

栽培漁業と養殖はどう違うの?

栽培漁業は、ふ化させた稚魚が自然の海の中で自分でエサをとれ、身を守ることができるまで育ててから海に放流し、自然の海で大きく育ったサカナを漁獲します。
養殖は、サカナの子供の頃から大人になるまでイケスや水そうで育て放流しないというところです。
栽培漁業は海の恵みをみんなで得ることができます。

種苗生産の発展には、シオミズツボワムシの餌料としての利用法という大発見があったの。食べて育つという一番大切なサカナの赤ちゃんの離乳食って感じネ。

●もっと詳しく知りたいときは こちらまでお問い合わせください。

公益社団法人
全国豊かな海づくり推進協会
URL : http://www.yutakanaumi.jp/

東京都中央区日本橋小伝馬町 9番 6号
小伝馬町松村ビル6階　〒103-0001
TEL : 03-5651-3501
FAX: 03-5651-3502
MAIL: info@yutakanaumi.jp

図解でたのしく

きらきら わくわく

栽培漁業

みんなのための「豊かな海づくり」

公益社団法人 全国豊かな海づくり推進協会

つくり育てる栽培漁業は、海の恵みを明日につなげます。

栽培漁業って知ってる!?

栽培漁業は、サカナや貝、エビなどを、卵から稚魚になるまでのもっとも育つには難しい時期を人間が手をかして守り育てます。そして、自然の海の中で自分でエサをとり、外敵から身を守ることができる、しっかり生きていける大きさになったら、そのサカナが生きるのに適した海に放流。自然の海で成長したものを漁獲することです。

みんなで育てたサカナなどを計画的に漁獲する今の漁業にはかかせない、つくり育てる豊かな海づくりの取り組みです。

栽培漁業を5ステップで紹介しよう

1 種苗生産

元気な親から産まれた卵をふ化させ、室内の水そうで育てます。

2 中間育成

いつもきれいに掃除をしてくれる

弱くて食べられやすい時期を人間が飼育します。

3 放流

時期・場所や適正な放流量が大切。

子供の住処 藻場は安全よ

4 管理

資源を守るために漁場や漁具の制限、禁漁期の設定、育成場所の造成などをします。

元気に育つサカナたちのために、海の環境づくりをつづけているんだよ。

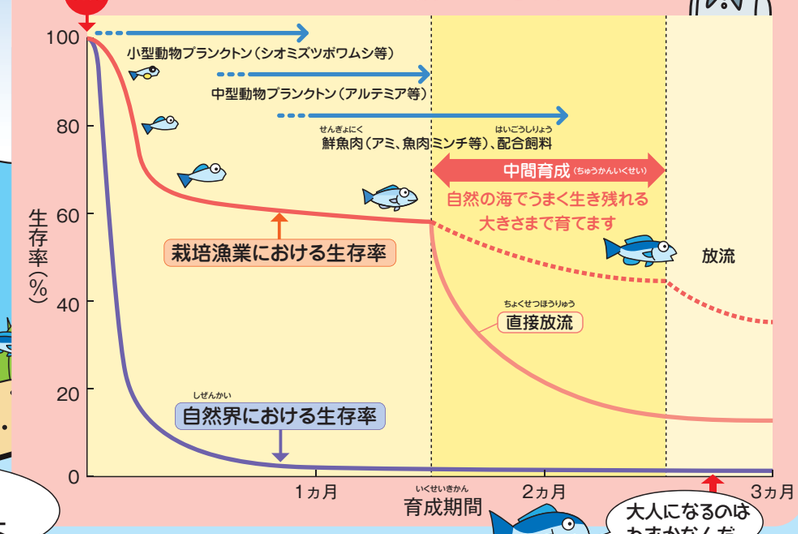
5 漁獲

計画的に

子供は逃げて

小さい魚は捕りません

おいしいサカナがいつまでも

生存率の比較

サカナの種類や成長に合せてエサを換えていきます